



発行所 三豊教育会館内
香教組三豊支部
編集人情宣部
TEL 0875-25-3761
http://www.niji.jp
/home/kazuo-t
/mitoyosibu1

「過去問しろ」とは言っていない！ 教員増を要望している！=教育長= 1つ増やせば、1つやめる！=組合=



要求を聞き取る三野正教育長



要求を聞き取る三好党教育長

「三豊・観音寺市教委に30人以下学級実現など要求」
三豊・観音寺の教育をよくする会（澁谷光博会長）は署名に協力してくれた三豊地区労をはじめとする諸団体の仲間と共に一月二十九日観音寺市の三野正教育長、二月五日三豊市の三好党教育長に30人以下学級実現などを要求しました。

パワハラ等、困った時の相談は、香教組へ連絡を！

三豊市教育委員会教育長 三好 覚 殿
観音寺市教育委員会教育長 三野 正 殿

三豊・観音寺の教育をよくする会会長 澁谷光博

ゆきとどいた教育を求める要求書

【要求の趣旨】

いま貧困と格差拡大が子どもたちの教育に大きな影響を与えています。私たちは憲法、子どもの権利条約に基づいて、すべての子どもたちに確かな学力と民主的な人格を形成する教育を実現しなければならないと考えています。こうした趣旨の下に「ゆきとどいた教育を求める香川県署名」に取り組み、今年度は三豊・観音寺市で1701筆を集約しました。その活動の中で、三豊・観音寺の教育について以下のような声があがっていました。

早急に改善されるよう強く要求します。

【要求事項】

- 1、全国学力テストや学習状況調査はやめるよう働きかけてください。
- 2、子どもと直接向き合う正規の教職員を増員するよう国や県に働きかけてください。そして、すべての小・中学校で、30人以下学級を実現するよう国や県に働きかけてください。
- 3、教職員の勤務時間を守るよう指導してください。また、教職員の多忙化を解消するために多忙化の原因を分析し、多忙化を解消するよう努力してください。
- 4、小・中学校の教材費、給食費など学校納付金を無償にしてください。
- 5、本格実施を前にしている小学校の外国語活動・道徳の授業について、子どもたちや教師の負担増にならないようにしてください。
- 6、その他(夏休み短縮・土曜授業・特休・パワハラ・就学前の健康診断等)

三好党教育長は、よくする会の「テストの平均点ばかり気にして過去問題をやる学校が増えている。教育長が実施するよう言ったのか？」の質問に対して、「校長会や教頭会で、『過去問をしろ。』とは一切言っていない。『成績を上げる。』とも言っていない。確かな学力をつけることは大切だ」と答えた。

三野正教育長は、よくする会の「過去問実施の対策では本当の実力はつかない。」との質問に、「SES調査（経済と学力の経年調査）から家庭等と学力の関係が分かる。（過去問反対の）要望があったことは聞いておく。」と回答した。

三野正教育長は、よくする会の「過去問実施の対策では本当の実力はつかない。」との質問に、「SES調査（経済と学力の経年調査）から家庭等と学力の関係が分かる。（過去問反対の）要望があったことは聞いておく。」と回答した。

では「これまでの教職員定数改善の歴史を振り返ると、新たな教職員定数改善協議会なるものを策定する必要がありと考えている。教職員の増員は常に訴えている。」と回答した。

「来年度はしない。2学期制導入期の決断を生かしたい。」と述べた。

変形労働時間制!?

○教員の長時間労働を是正するための働き方改革が進められる中、各学校では、ノー部活デー、ノー残業デー、計画年休制、部活動の休養日設定（週に平日の1日以上、土日のどちらか1日以上）、家庭訪問の廃止など。多忙化の解消策が工夫されている。

○1月25日に答申された中教審答申では、「年単位の変形労働時間制を導入できる法改正を提言」している。学期中が繁忙期だからといって勤務時間を延ばせば、仕事量は減っていないので更に退庁時間は遅くなるだけ。また、夕方の子どもの迎え、食事の支度、通院などに、年休を取得する必要がある!? 1日8時間以上働かせるとは不健康である。我々教員は、今でも家庭や地域を顧みず朝から晩まで働く人が多い。更なるブラック企業化である。閑散期といわれる長期休業中も忙しく早く帰れる訳がない。世間離れの教員現場に拍車がかかる一方だ。導入されないよう皆で反対の声を。

管理職評価!?

○威圧的な指導をしたり、人を見て態度を変えたりする管理職（校長・教頭）がいる。ある校長が「講師」という役割を生徒や保護者にバラしてしまいきらい。管理職の指導は、生徒や教師の心に寄り添う温かい指導であって欲しい。（パワハラ相談窓口は市教委にもある）



間制は、多忙化解消にならない。むしろ、夕方の子どもの迎えや夕食の準備、夕方の通院に年休を取得しなければならぬ事態になる恐れがある。おかしい。」との質問に、「この件は慎重に扱っていかなければならない。」と回答した。

夏休み短縮・土曜授業に関しては「平成31年度は行わない。」と述べた。

過去の二学期制導入が流行した時期に、三観は拙速を避け、的確な判断の基に導入をしなかった。今回もそう願いたい。